

# 概 要

## 1 福井県総人口 773,731 人（平成 30 年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、平成 30 年 10 月 1 日現在 773,731 人となり、平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日までの 1 年間に 4,598 人減少した。

全国総人口は 12,644 万人（総務省「人口推計」平成 30 年 10 月 1 日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は 0.61% である。また、本県の面積は 4,190.52 k m<sup>2</sup>（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」平成 30 年 10 月 1 日現在）であり、人口密度は 1 k m<sup>2</sup> 当たり 184.6 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、平成 30 年は前年と比べ△0.59%と、19 年連続の減少となっている。

図 1 総人口・人口増減率の推移（昭和 40 年～平成 30 年）

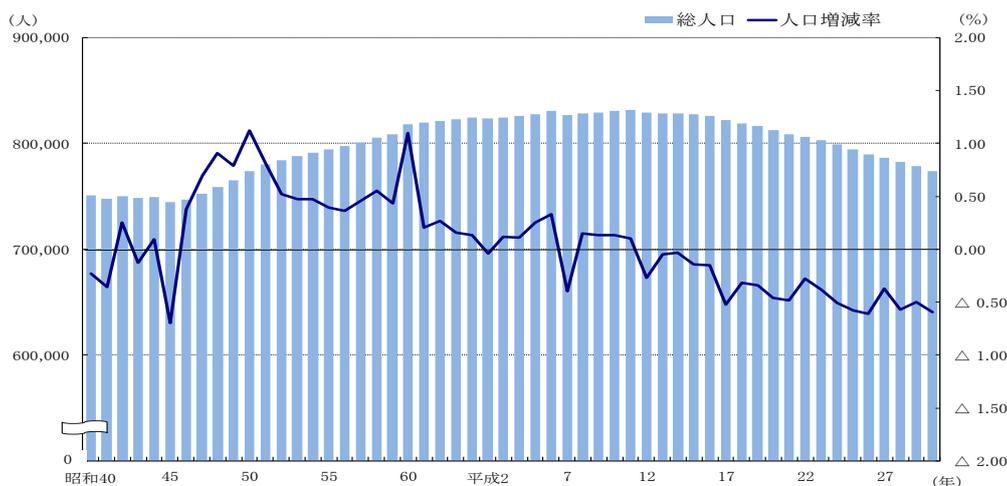


表 1 人口の推移（平成元年～平成 30 年）

（単位：人、%）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	・・・
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,448
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988

【※は国勢調査年】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

### (1) 自然動態（出生・死亡）

出生数は5,823人となり、前年と比べ155人の減少となった。第2次ベビーブーム期の昭和48年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は9,411人となり、前年に比べ35人減少したものの、増加傾向が続いている。この結果、自然増減数は3,588人の減少となり、平成16年以降15年連続の減少となっている。

### (2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和25年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成13年以降社会減少が続いている。平成30年の県外転入者は13,406人、県外転出者は14,416人となっており、この結果1,010人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは石川県の1,137人であり、次いで大阪府1,134人、愛知県921人となっている。また、県外転出で最も多いのは東京都の1,494人であり、次いで大阪府1,367人、愛知県1,351人となっている。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～平成30年）

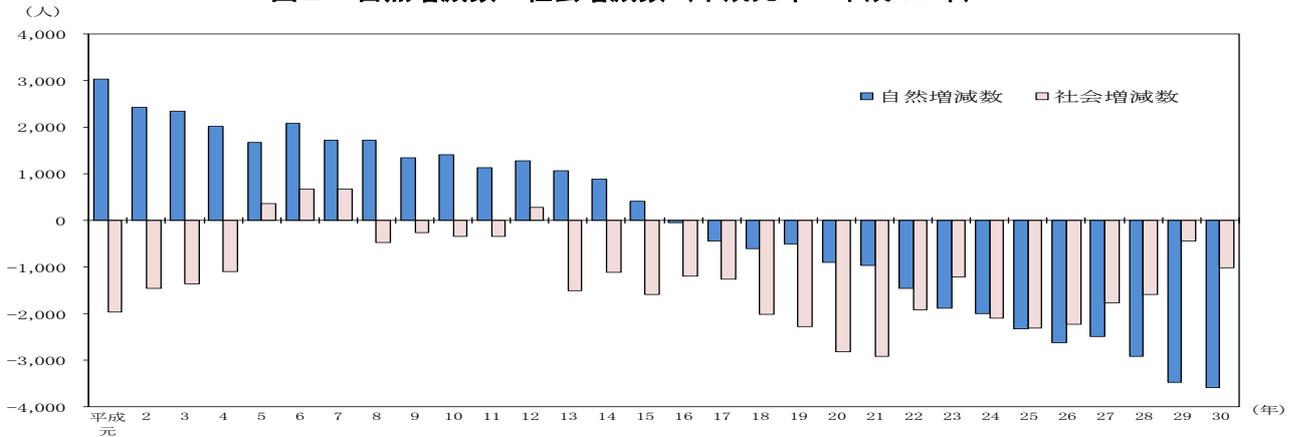


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～平成30年）

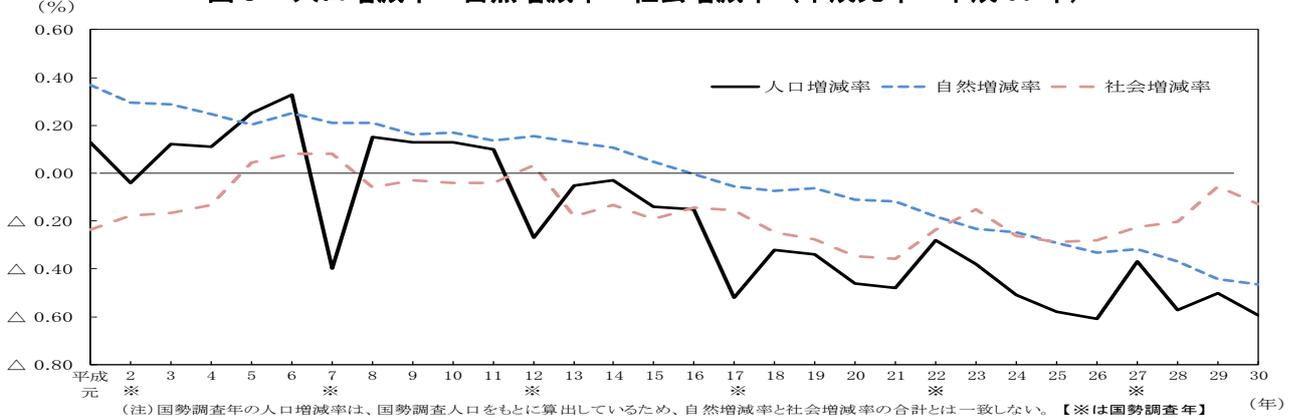


図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～平成30年）

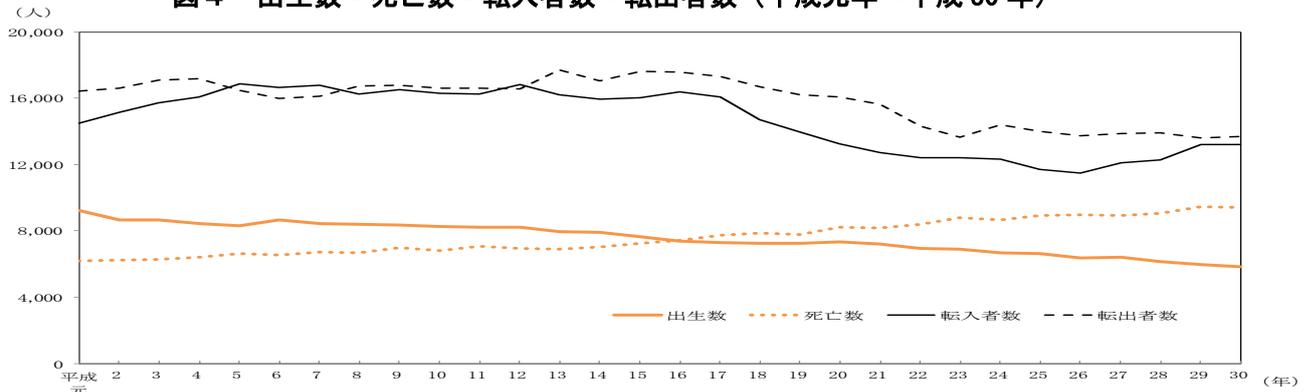


図5 総人口の推移（平成29年10月～平成30年10月）

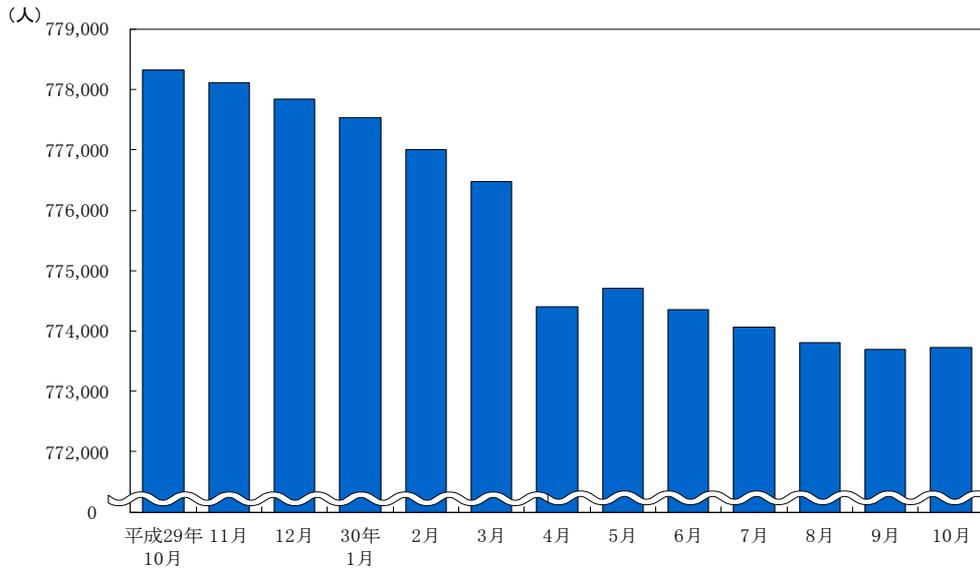


図6 自然増減数・社会増減数（平成29年10月～平成30年9月）

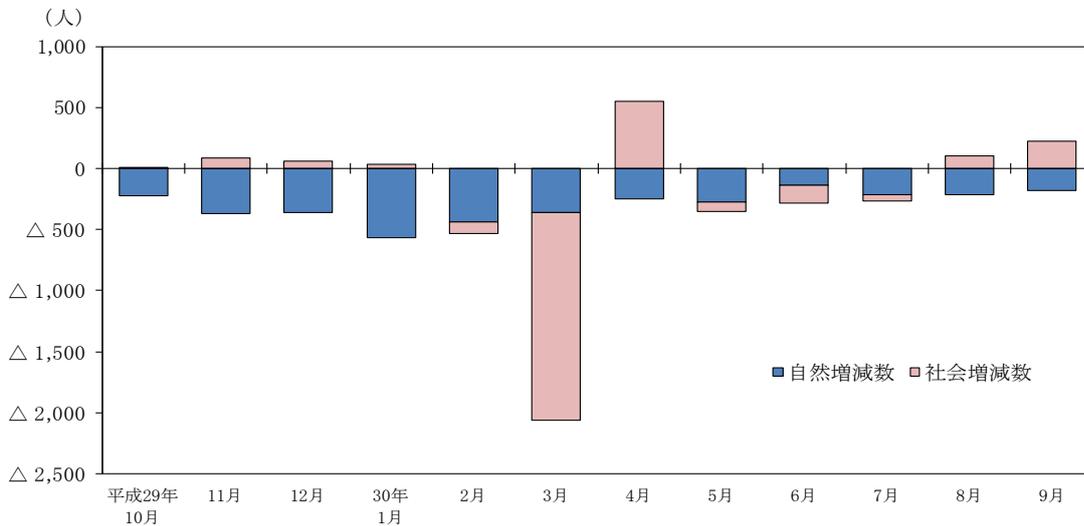


表2 月別人口・移動者数（平成29年10月～平成30年10月）

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
平成29年10月	778,329	△ 215	△ 222	528	750	7	929	922
11月	778,114	△ 280	△ 367	467	834	87	857	770
12月	777,834	△ 300	△ 363	468	831	63	781	718
平成30年1月	777,534	△ 532	△ 565	479	1,044	33	854	821
2月	777,002	△ 532	△ 440	474	914	△ 92	839	931
3月	776,470	△ 2,063	△ 363	503	866	△ 1,700	2,201	3,901
4月	774,407	304	△ 247	437	684	551	1,947	1,396
5月	774,711	△ 356	△ 276	549	825	△ 80	912	992
6月	774,355	△ 287	△ 135	482	617	△ 152	750	902
7月	774,068	△ 268	△ 217	497	714	△ 51	1,009	1,060
8月	773,800	△ 111	△ 211	481	692	100	1,143	1,043
9月	773,689	42	△ 182	458	640	224	1,184	960
10月	773,731	-	-	-	-	-	-	-
総数		△ 4,598	△ 3,588	5,823	9,411	△ 1,010	13,406	14,416

(注)「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（平成29年10月～平成30年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	5,823	2,971	2,852	11	7	4	735	391	344	698	361	337
5～9	—	—	—	4	3	1	329	190	139	355	177	178
10～14	—	—	—	3	2	1	168	87	81	205	109	96
15～19	—	—	—	3	1	2	732	378	354	898	494	404
20～24	—	—	—	18	14	4	2,879	1,606	1,273	3,603	1,876	1,727
25～29	—	—	—	8	7	1	2,678	1,429	1,249	2,763	1,471	1,292
30～34	—	—	—	26	16	10	1,812	917	895	1,818	944	874
35～39	—	—	—	22	16	6	1,202	690	512	1,181	621	560
40～44	—	—	—	51	27	24	850	516	334	845	491	354
45～49	—	—	—	68	37	31	638	405	233	724	445	279
50～54	—	—	—	89	63	26	464	330	134	408	272	136
55～59	—	—	—	145	93	52	300	213	87	291	190	101
60～64	—	—	—	221	153	68	210	137	73	169	108	61
65～69	—	—	—	501	340	161	154	90	64	137	77	60
70～74	—	—	—	662	469	193	73	41	32	91	39	52
75～79	—	—	—	892	554	338	56	22	34	68	37	31
80～84	—	—	—	1,519	877	642	56	22	34	56	14	42
85～89	—	—	—	2,106	1,074	1,032	45	12	33	63	19	44
90以上	—	—	—	3,062	1,515	1,547	25	6	19	43	7	36
総数	5,823	2,971	2,852	9,411	4,668	4,743	13,406	7,482	5,924	14,416	7,752	6,664

図7-1 5歳階級別県外転入者数

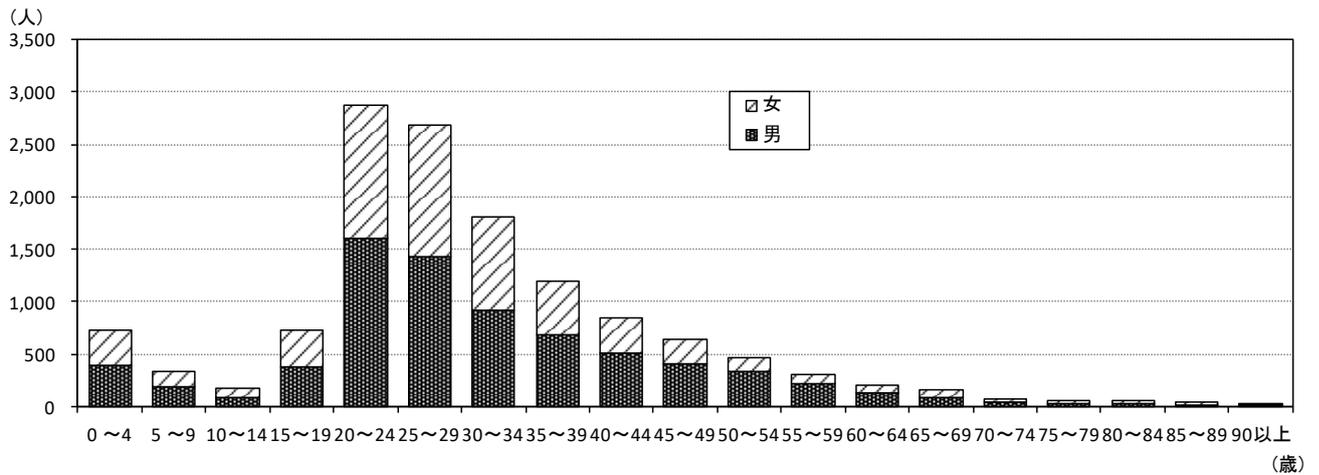


図7-2 5歳階級別県外転出者数

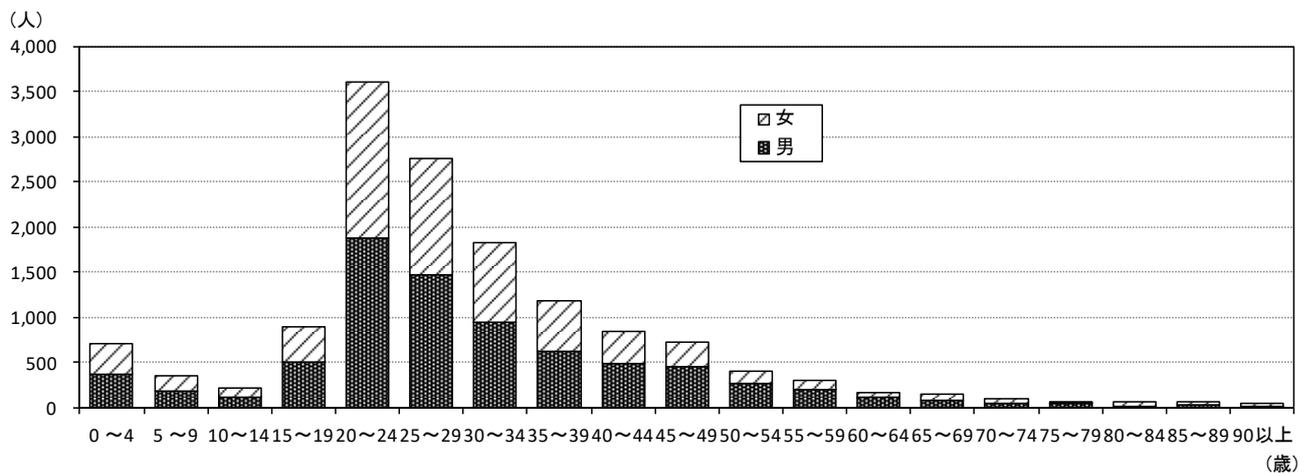
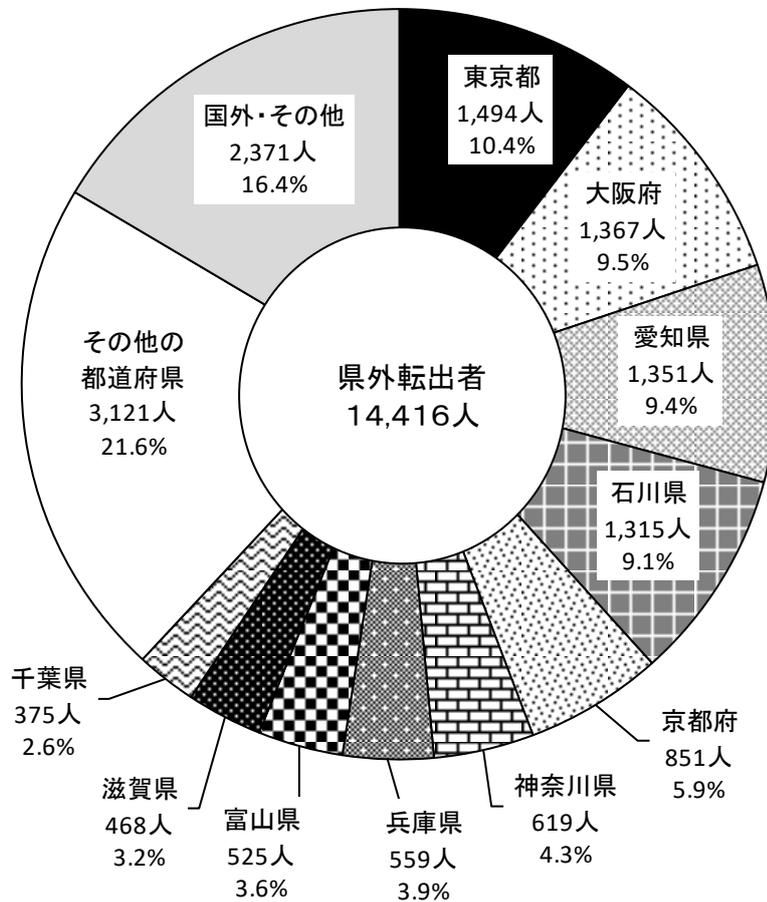
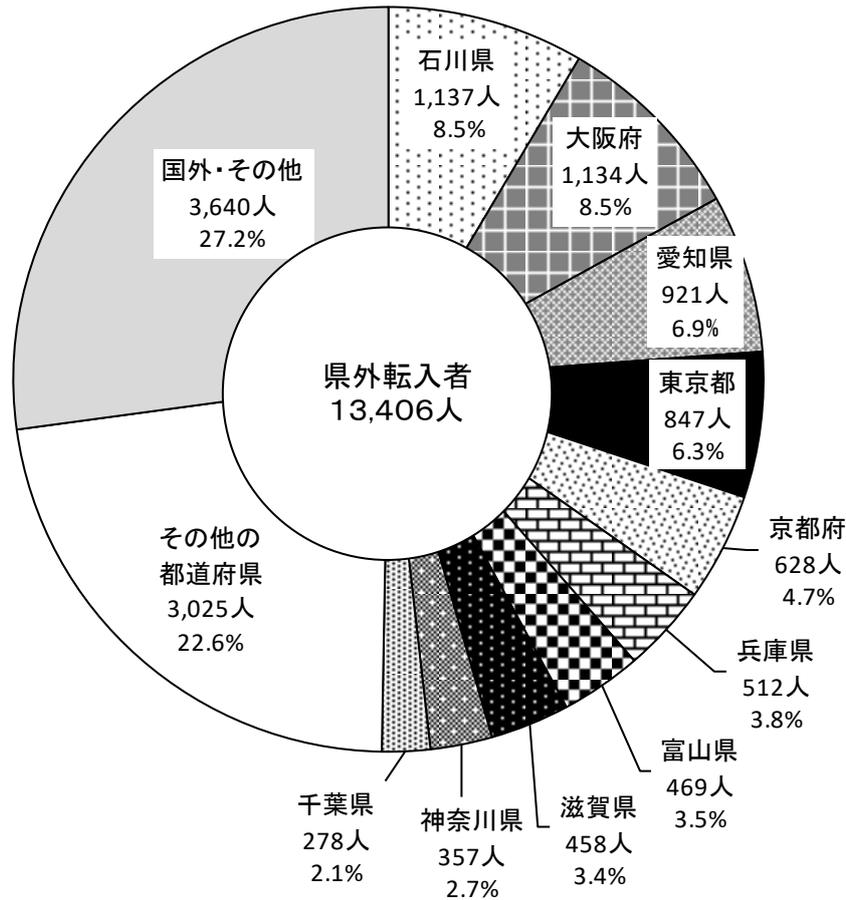


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



## 2 年齢・男女別人口

### (1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、65～69歳が60,802人と最も多く、次いで45～49歳53,280人、40～44歳51,328人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現69～71歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現44～47歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は66～71歳と43～47歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が375,790人、女性が397,941人であり、女性が男性より22,151人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.4となっている。

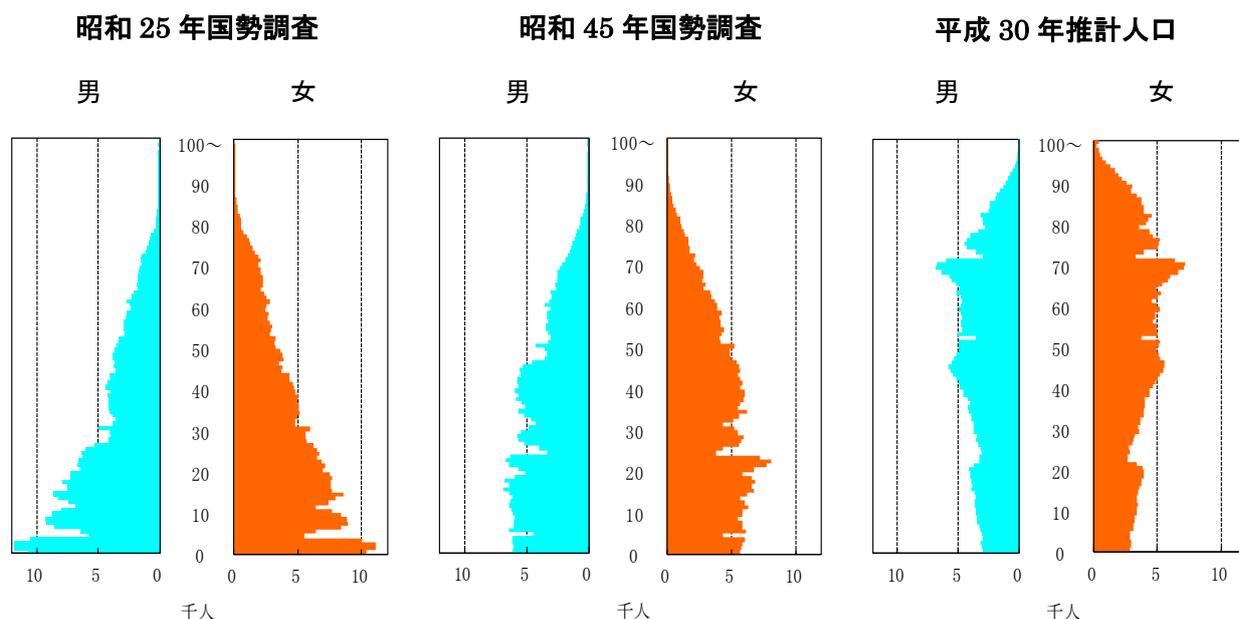
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位:人、%)

年齢	男女計	男	女	性比	年齢	男女計	男	女	性比
0～4	29,821	15,312	14,509	105.5	50～54	47,433	23,403	24,030	97.4
5～9	32,980	16,913	16,067	105.3	55～59	48,534	23,997	24,537	97.8
10～14	35,257	18,042	17,215	104.8	60～64	49,087	24,296	24,791	98.0
15～19	38,827	19,791	19,036	104.0	65～69	60,802	29,774	31,028	96.0
20～24	32,982	17,446	15,536	112.3	70～74	49,542	23,625	25,917	91.2
25～29	32,919	17,220	15,699	109.7	75～79	41,960	18,967	22,993	82.5
30～34	38,250	19,490	18,760	103.9	80～84	35,001	14,090	20,911	67.4
35～39	42,542	21,591	20,951	103.1	85～89	25,919	9,117	16,802	54.3
40～44	51,328	26,088	25,240	103.4	90～	17,330	4,314	13,016	33.1
45～49	53,280	26,879	26,401	101.8	合計	773,731	375,790	397,941	94.4

(注)年齢不詳 男女計9,937人、男5,435人、女4,502人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）



## (2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、平成30年の年少人口（0～14歳）は98,058人（12.8%）で、前年に比べて0.2ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は435,182人（57.0%）であり、前年と比べて0.2ポイント減少した。老年人口（65歳以上）は230,554人（30.2%）であり、前年と比べて0.4ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）は235.1となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～平成30年）

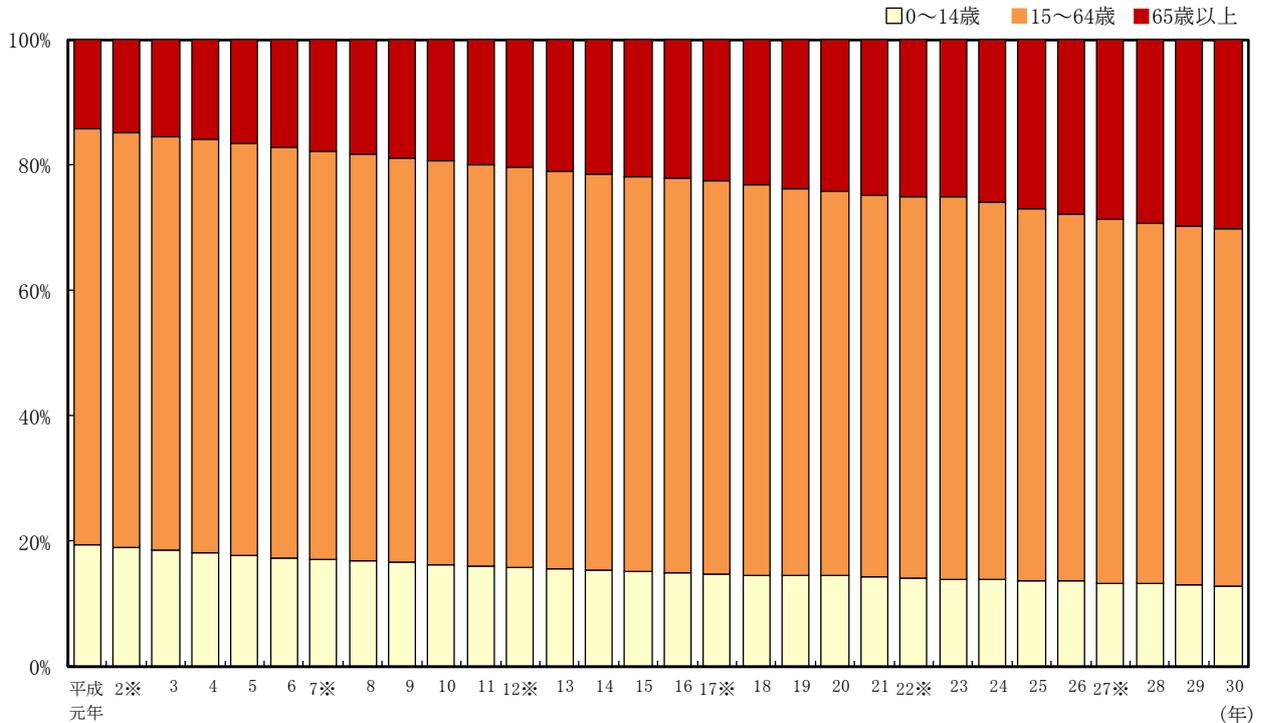


表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～平成30年）

(単位:人、%)

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1

(注1) 平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

【※は国勢調査年】

(注2) 平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

### 3 世帯数 286,392 世帯（平成 30 年 10 月 1 日現在）

福井県の総世帯数は 286,392 世帯であり、前年と比べ 2,292 世帯 (0.81%) 増加した。また、1 世帯当たり人員は 2.70 人であり、前年と比べ 0.04 人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図 1 1 世帯数の推移（平成元年～平成 30 年）

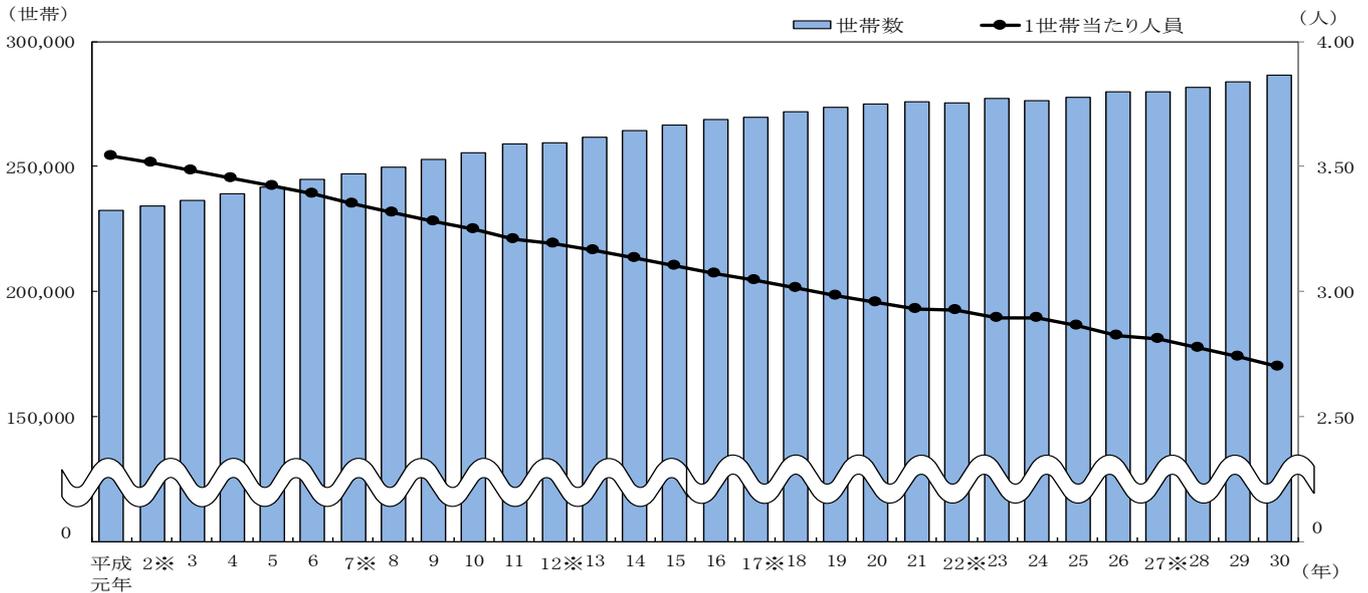


表 6 世帯数の推移（平成元年～平成 30 年）

(単位: 世帯、人、%)

区分	世帯数	増加数	増加率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70

【※は国勢調査年】

## 4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 263,529 人であり、県全体の 34.1%を占める。次いで坂井市 89,303 人、越前市 80,938 人となっている。

### (1) 人口増減

人口が増加したのは鯖江市のみであり、他の 16 市町は昨年と比べ人口が減少した。

人口増減率は、鯖江市が 0.26%と最も高く、次いで越前市△0.06%、おおい町△0.33%となっている。最も減少率が高いのは池田町の△2.45%であり、次いで若狭町△1.92%、南越前町△1.82%となっている。

広域圏単位で見ると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の△1.44%であり、次いで嶺南△1.07%となっている。

表7 地区・市町別人口および増減率

(単位:人、%)			
	人口	増減数	増減率
県計	773,731	△ 4,598	△ 0.59
福井地区	282,839	△ 1,144	△ 0.40
福井市	263,529	△ 991	△ 0.37
永平寺町	19,310	△ 153	△ 0.79
坂井地区	117,183	△ 731	△ 0.62
あわら市	27,880	△ 279	△ 0.99
坂井市	89,303	△ 452	△ 0.50
奥越地区	54,796	△ 799	△ 1.44
大野市	31,827	△ 398	△ 1.24
勝山市	22,969	△ 401	△ 1.72
丹南地区	182,878	△ 458	△ 0.25
鯖江市	68,669	175	0.26
越前市	80,938	△ 50	△ 0.06
池田町	2,431	△ 61	△ 2.45
南越前町	10,300	△ 191	△ 1.82
越前町	20,540	△ 331	△ 1.59
嶺南地区	136,035	△ 1,466	△ 1.07
敦賀市	64,930	△ 492	△ 0.75
小浜市	28,672	△ 444	△ 1.52
美浜町	9,472	△ 138	△ 1.44
高浜町	10,361	△ 81	△ 0.78
おおい町	8,104	△ 27	△ 0.33
若狭町	14,496	△ 284	△ 1.92

図12 市町別人口増減率（その1）

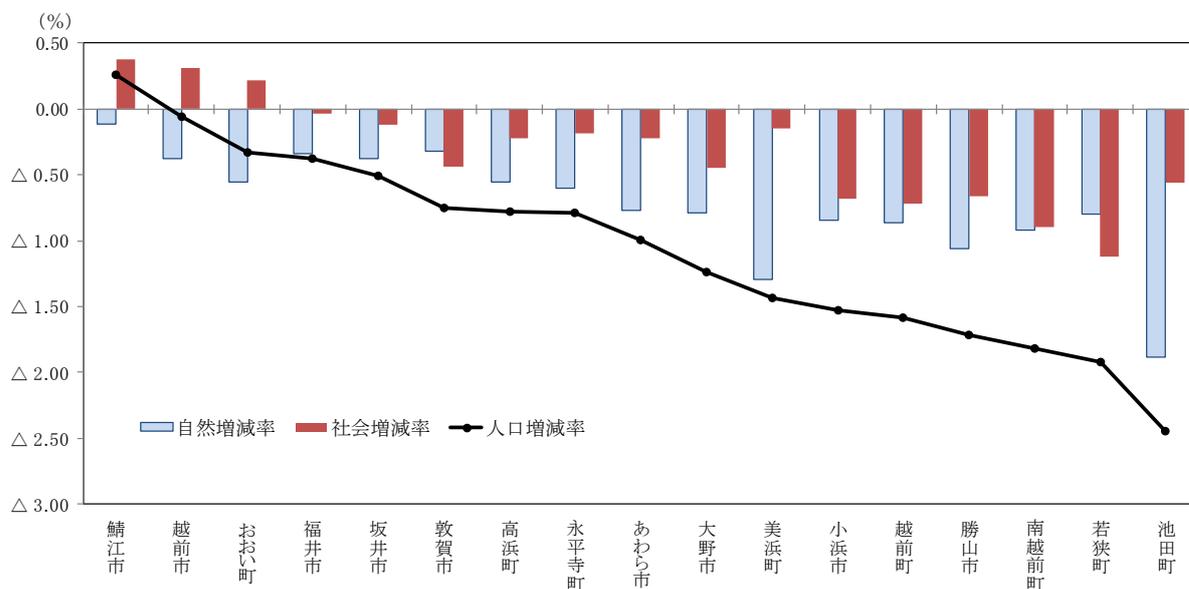
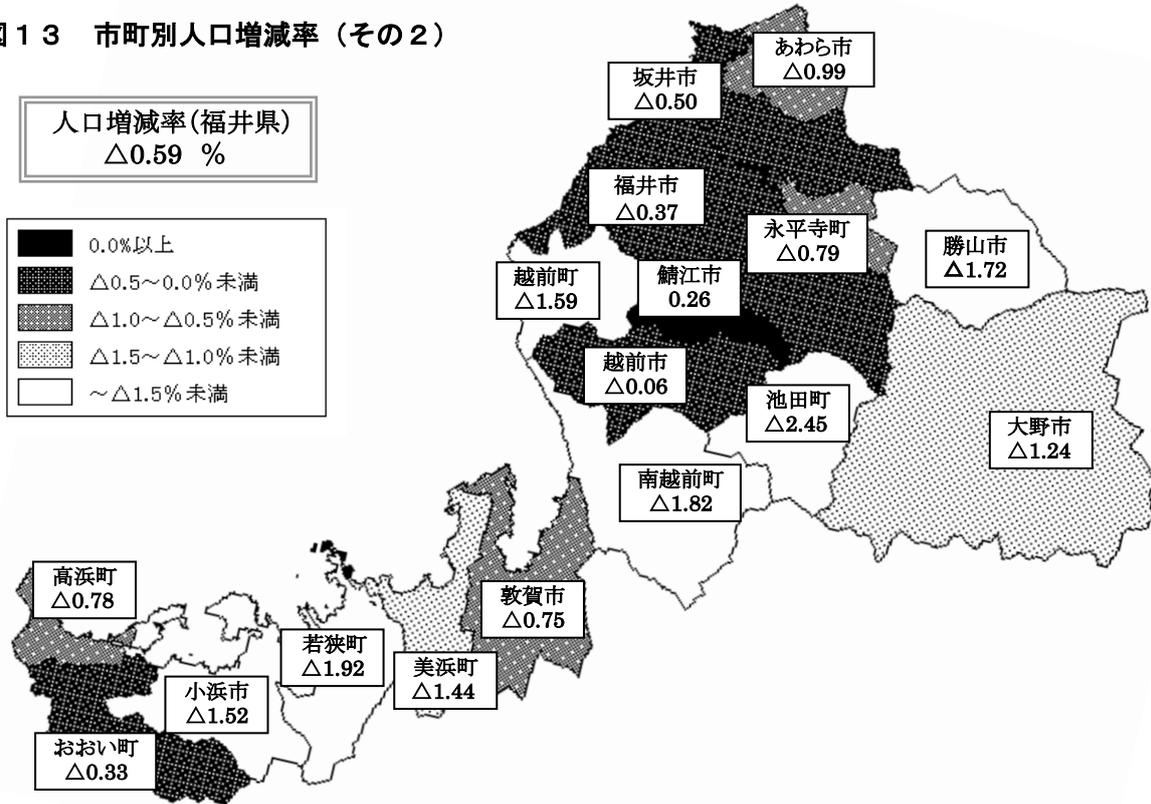


図 1 3 市町別人口増減率（その 2）



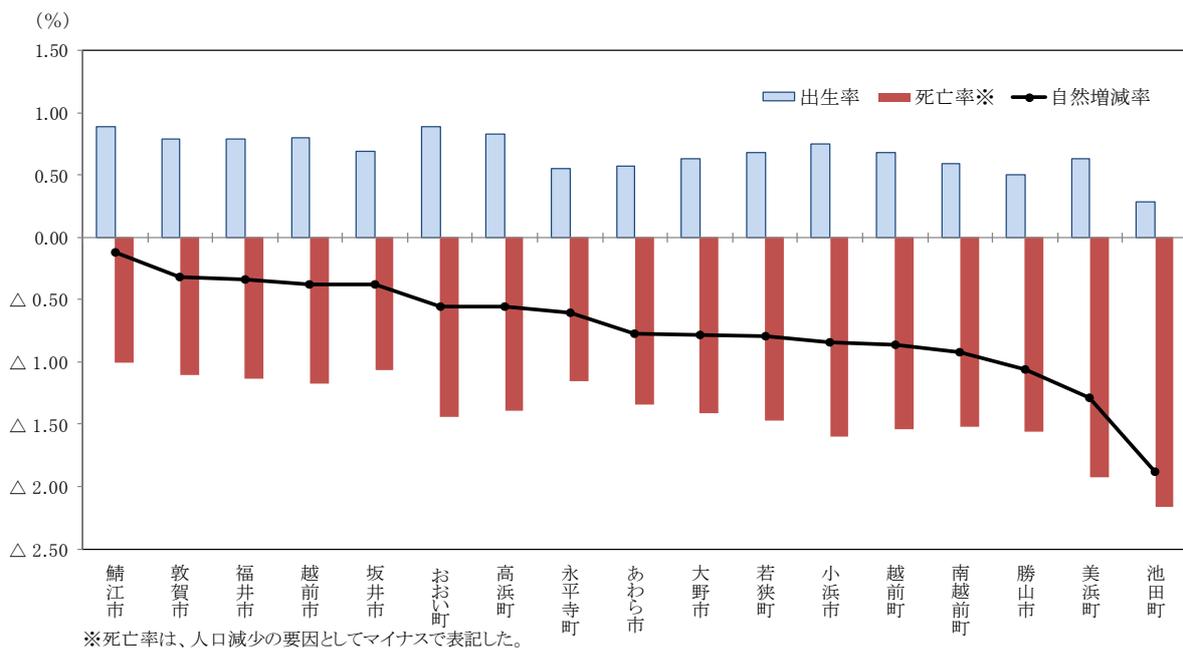
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の $\Delta 0.12\%$ であり、次いで敦賀市 $\Delta 0.32\%$ 、福井市 $\Delta 0.34\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 1.89\%$ であり、次いで美浜町 $\Delta 1.29\%$ 、勝山市 $\Delta 1.06\%$ となっている。

出生率は、鯖江市とおおい町が0.89%と最も高く、次いで高浜町0.83%、越前市0.80%となっている。最も低いのは池田町の0.28%であり、次いで勝山市0.50%、永平寺町0.55%となっている。

死亡率は、池田町が2.17%と最も高く、次いで美浜町1.93%、小浜市1.60%となっている。最も低いのは鯖江市の1.01%であり、次いで坂井市1.07%、敦賀市1.11%となっている。

図 1 4 市町別自然増減率



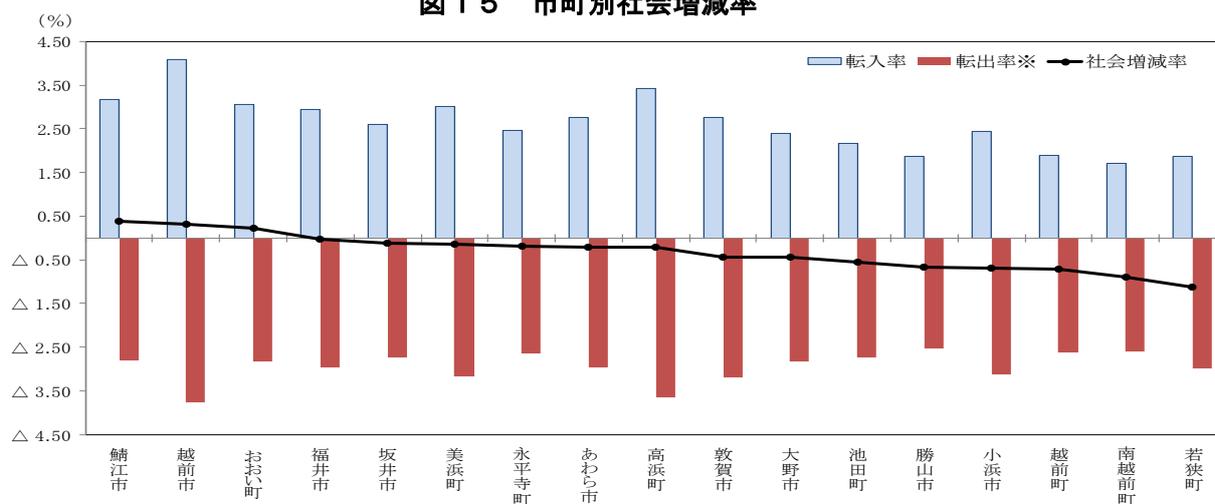
### (3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは3市町のみであり、鯖江市が0.37%、次いで越前市0.31%、おおい町0.22%となった。他の14市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは若狭町の△1.12%であり、次いで南越前町△0.90%、越前町△0.72%となった。

転入率は、越前市が4.09%と最も高く、次いで高浜町3.43%、鯖江市3.17%となっている。最も低いのは南越前町の1.71%であり、次いで勝山市1.86%、若狭町1.87%となっている。

転出率は、越前市が3.77%と最も高く、次いで高浜町3.65%、敦賀市3.19%となっている。最も低いのは勝山市の2.52%であり、次いで南越前町2.60%、越前町2.61%となっている。

図15 市町別社会増減率

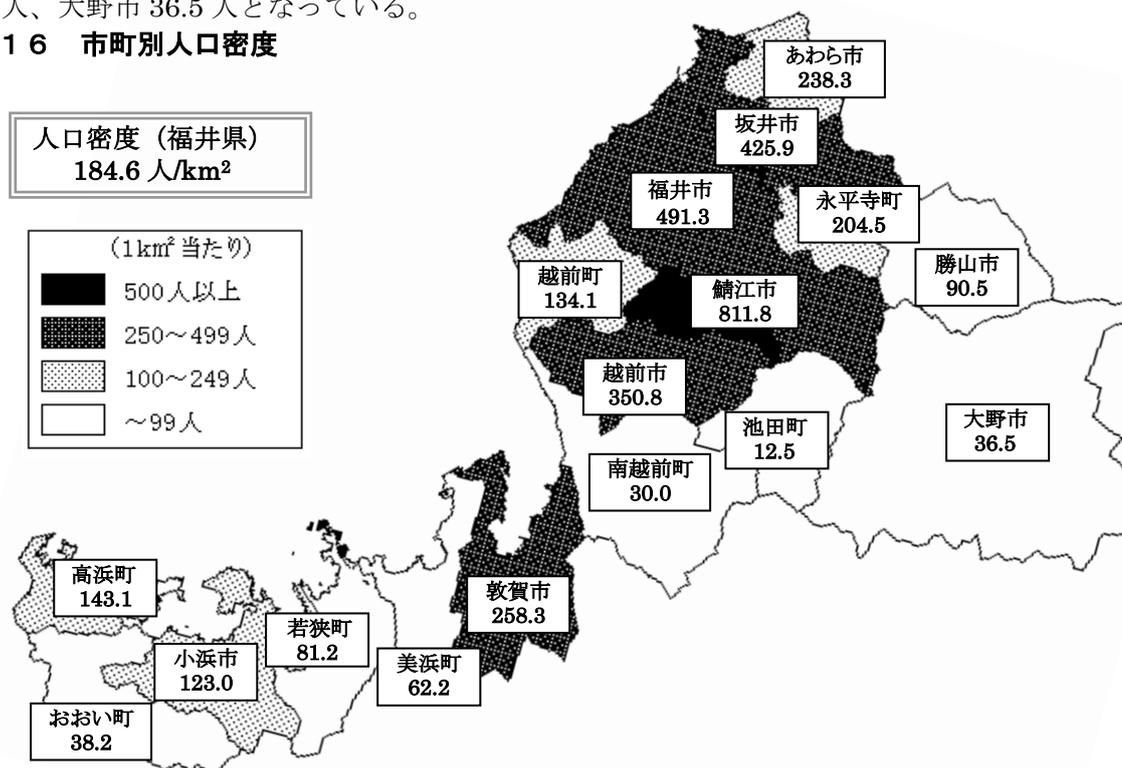


※転出率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

### (4) 人口密度

面積1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は、鯖江市が811.8人であり最も高く、次いで福井市491.3人、坂井市425.9人となっている。最も低いのは池田町の12.5人であり、次いで南越前町30.0人、大野市36.5人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の14.5%であり、次いでおおい町14.1%、坂井市13.6%となっている。最も低いのは池田町の7.9%であり、次いで美浜町10.9%、大野市11.1%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは永平寺町の59.2%であり、次いで坂井市58.4%、敦賀市58.2%となっている。最も低いのは池田町の48.5%であり、次いで若狭町51.8%、南越前町52.2%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の43.5%であり、次いで大野市36.4%、勝山市36.4%となっている。最も低いのは鯖江市の27.4%であり、次いで坂井市28.0%、敦賀市28.5%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の548.2であり、次いで大野市327.6、勝山市325.5となっている。最も低いのは鯖江市の189.1であり、次いで坂井市205.5、敦賀市214.2となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

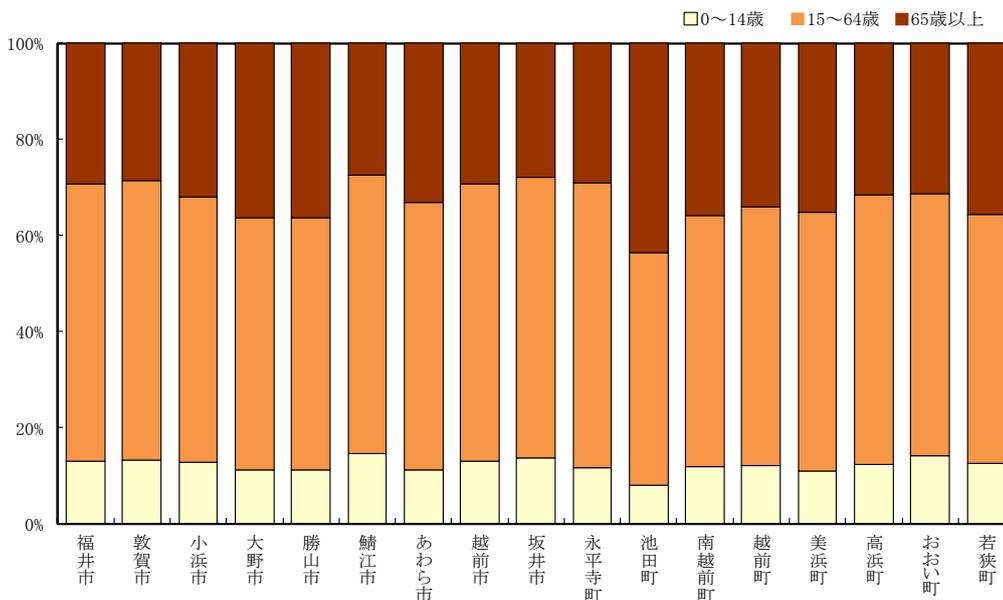
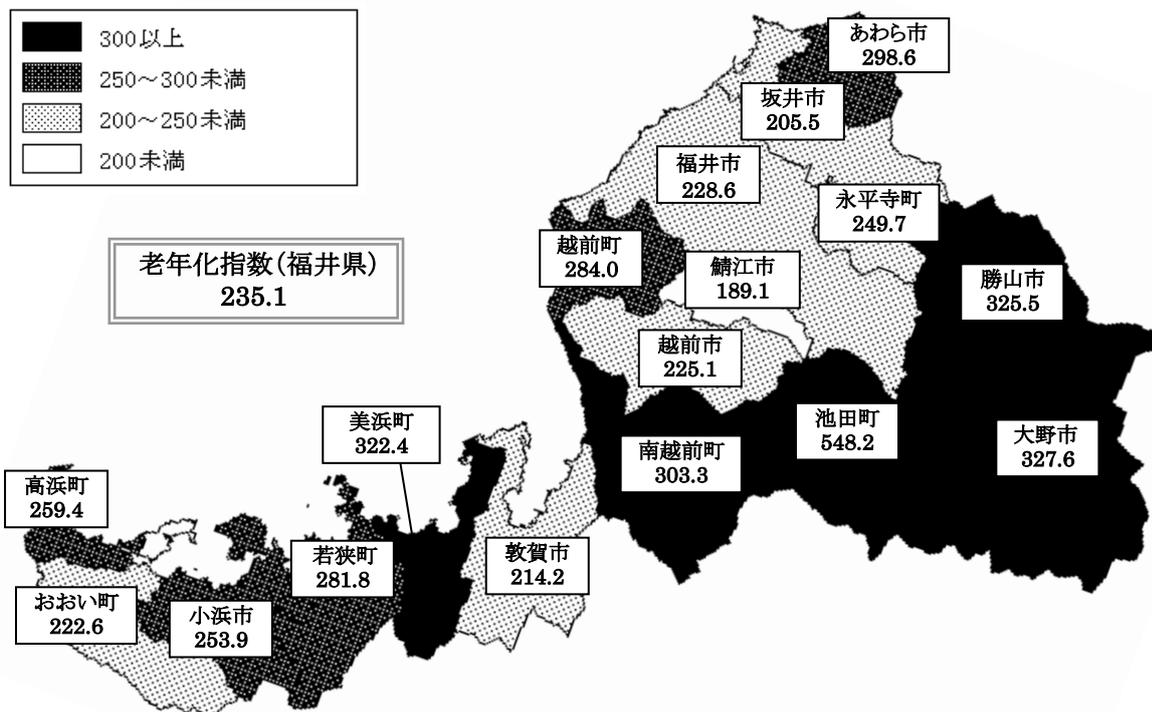


図18 市町別老年化指数



## (6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の102,910世帯であり、県全体の35.9%を占めている。次いで坂井市30,391世帯、越前市29,035世帯となっている。

増減率は、越前市が1.56%と最も高く、次いで鯖江市1.51%、高浜町1.27%となっている。最も低いのは、南越前町の△0.63%であり、次いで池田町△0.57%、若狭町△0.48%となっている。

1世帯当たり人員が最も多いのは、越前町の3.16人であり、次いで南越前町3.11人、若狭町3.03人となっている。最も少ないのは、高浜町の2.41人であり、次いで敦賀市2.41人、美浜町2.46人となっている。

表8 市町別世帯数

(単位:世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県計	286,392	2,292	0.81
福井市	102,910	927	0.91
敦賀市	26,912	145	0.54
小浜市	11,326	13	0.11
大野市	10,761	21	0.20
勝山市	7,612	△28	△0.37
鯖江市	23,463	350	1.51
あわら市	9,811	35	0.36
越前市	29,035	445	1.56
坂井市	30,391	360	1.20
永平寺町	7,333	20	0.27
池田町	868	△5	△0.57
南越前町	3,316	△21	△0.63
越前町	6,499	△10	△0.15
美浜町	3,850	△16	△0.41
高浜町	4,302	54	1.27
おおい町	3,219	25	0.78
若狭町	4,784	△23	△0.48

図19 市町別1世帯当たり人員

